

令和5年度 研究構想図

呉市立仁方小学校

学校教育目標

自ら学び、心豊かな仁方っ子を育てる

中学校区で育成したい資質・能力

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等	
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	規範意識・公德心

【めざす子ども像】

にこにこ笑顔で がんばりぬき 助け合う仁方っ子

にこにこ笑顔で元気にあいさつ・返事をする

自分から学び、かんばって勉強や運動を最後までやりぬく

高学年を中心に、たすけ合って、主体的に活動する

【研究主題】

主体的に学び、思考力・判断力・表現力を身に付けた児童の育成

～自分の考えを深め、表現する授業づくり～

【研究仮説】

自分の考えを深め、表現する授業を行えば、児童の思考力・判断力・表現力が高まるであろう。

【研究内容】

(1) 学びの主体性の喚起

- ① 児童生徒にとって身近な事象からの教材開発、既習事項との違いを意識した導入の工夫
- ② 教師の発問の厳選

(2) 思考力・判断力・表現力を高めるための授業展開・単元構成の工夫

- ① 生活場面や他教科等と関連を図った課題発見・解決学習の単元開発
- ② 表現方法の多様化 (ICTの効果的な活用)
- ③ 話し合い活動の場の設定の工夫
- ④ 思考を促す発問
- ⑤ 授業の振り返りにおける記述の視点の提示

【児童の実態】

- ・基礎的・基本的な学習内容が身に付いていない児童がおり、学力の2極化がみられる。活用問題につまづきが多い。
- ・問題場面をイメージしたり、問われている意味を理解して深く考えたりすることが苦手な児童が多い。
- ・目的に応じて必要な情報を見付け出し、自己の考えを多様な方法で表現する力が弱い。

学びの基盤

スキルタイム、スマイルタイム、仁方タイム、ぐんぐんノート等